



2026 年度

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

9月 保育園だより

あいじ福祉会の理念

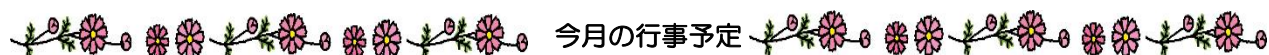
基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

厳しい暑さの中にも、朝晩は少しずつ秋の風を感じられるようになりました。

今年の夏は猛暑に加え地震や豪雨、竜巻など、自然がもたらす災害のニュースを多く耳にし、心が痛みました。特に今月は、台風など、天候が不安定になる季節です。園では防災に対する意識を一層高めていきたいと思います。

また、疲れが出やすくもなるため、「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、健康管理に気をつけながら、多くの学びに出会う“秋”にしましょう。



1(火)	交通指導 毎月1日、15日は年齢に適した交通ルールを学びます。	23(水)	秋分の日
5(土)	保護者会役員会 9:30～ ウエス回収まとめ	24(木)	フレンズタイム 子育てサポーターシニアサロン 9:30～
7(月)	フレンズタイム	25(金)	中秋の名月 保育実習 福祉短大(至10月8日) 命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※3園合同研修会 18:00～
10(木)	イングリッシュタイム 10:30～ ブライアン先生&りえ先生		随時布団持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
12(土)	秋のくろワン出発式(4歳児)	28(月)	フレンズタイム 14歳の挑戦(至10月1日)
14(月)	フレンズタイム		
15(火)	交通指導		
16(水)	イングリッシュタイム 9:30～ ルーカス先生		
17(木)	身体測定(至25日)		
18(金)	避難訓練		
21(月)	敬老の日 秋の全国交通安全運動(至30日) 街頭監視(9/24～9/30)		
22(火)	休日		



詳細は後日お知らせします。

保育・教育

幼児期の生活習慣は、心と身体の健やかな成長を支える土台です。「早寝・早起き・朝ごはん」を含む『基本的生活習慣』と挨拶やマナーなどの『社会的生活習慣』を遊びや環境の工夫を通じて、無理なく身につけられるよう、共に考え取り組んでいきましょう。

0歳児 ひよこ組

毎日元気いっぱい、朝から腹ばいやハイハイ、歩行でたくさん体を動かして遊んでいます。朝ごはんからしっかりエネルギー補給が来ている証拠です。好みの味や食材が出てきて、食事に対しての悩みも多い時期ですが、忙しい朝でも無理なく続けられる朝食、小さいうちから決まった時間に朝ごはんを食べるという習慣を身に付けることで自然と早起きの習慣へと繋がっていきます。また、朝ごはんの時間は、一日の始まりに食卓で顔を合わせ、話をする大切な機会でもあります。短い会話でも子どもにとっては大きな安心や愛情を感じることができるので、引き続き、毎朝の食事を大切にしていきたいと思います。

1歳児 りす組

「パン食べたよ」「バナナ食べた」「ママとおにぎり食べてきた」と、朝ご飯を食べてきたことを話してくれます。「朝ご飯を食べてきたから、元気に“おはよう”って保育園に来られたんだね」と、伝えています。早寝早起き朝ご飯は、成長を促し、生活リズムを整えるために大切なことです。「最近、休み明けなど、なかなか起きられなくて、朝ご飯を食べるのに時間がかかって」という声がきかれます。休みの日は、生活リズムが乱れがちになりますが、できるだけ、毎日の生活リズムを崩さず過ごすことが大切です。家庭でも、無理のない範囲で取り組んでいくことで、習慣化されていくことを願っています。

2歳児 うさぎ組

午前中の活動に、リズム遊びや運動遊びを取り入れて体を十分に動かしています。朝早くに体操などを取り入れると、体が目覚めやすくなります。「早起したら、元気いっぱい遊べるね」「たくさん運動したら、大きくなるよ」と子ども達が元気に活動したくなるような言葉を掛けることで、夏場の昼食も「お腹空いた!」と食欲が落ちることなく食べていました。午睡時間はみんなが寝入った後に、カーテンを開け、適度な明るさの元で深く眠り過ぎないようにも配慮しています。保育園での生活リズムがご家庭でのリス「早寝・早起き・朝ご飯」に繋がっていくと嬉しいです。

3歳児 いぬ組

早寝・早起き・朝ごはんの絵本「にこにこ げんきのおまじない」やなせたかし著を見ました。“元気でいるためには、早く寝ることや朝ごはんで力をつけることが大事”という内容です。また、登場人物の早おきくんがおまじないをかけてくれるという場面から、子ども達がいぬ組オリジナルのおまじないを「9時に、おやすみなさい」を決めました。まだ、時計を見て行動することは難しいかもしれませんが、お子さんが約束を守った時に褒めてあげることで良い生活習慣が身についていくと考えられます。たくさん体を動かす⇒睡眠⇒早起き、朝ご飯と子ども達の成長にとって良いサイクルで過ごせるよう援助をしていきます。

4歳児 くま組

子ども達は日々の生活や食事から、『早寝早起き朝ご飯を実践することは良いことである』と理解しているようです。「今日ね、パンとヨーグルトとぶどう食べてきたから元気もりもりだよ!」「朝早く起きてママとお散歩したよ。」「夜、寝るのが遅かったから眠い。だから朝バナナしか食べられなかった。」等の言葉が聞かれます。保「朝ご飯たくさん食べてきたからいっぱい走れるね。」「早起きして朝からお散歩できてうれしいね。だから元気に遊べるんだね。」等、子ども達が肯定的に捉えられるよう伝えています。また、園の午睡は一時間を目途にしています。一定時間になればカーテンを開け自然光が入るようにし、深い眠りにならないように配慮しています。今後も、『早寝早起き朝ご飯』の大切さを生活の中で伝えながら、ご家庭と共に進めていきたいと考えております。

5歳児 らいおん組

先日、『1年生のつどい』で1年生から小学校のことについて教えてもらう場がありました。その後、クラスで話題に取り上げると、「小学校は自分で歩いて行く」「早起きせんだら間に合わんよ」等、自分の兄妹の姿を知っている子からも発言がありました。子ども達は、約半年後、小学生になります。毎日、自分の足で歩いて登下校するためには、規則正しい生活習慣の確立が不可欠です。『よく遊び、よく食べ、よく眠る』という子どもにとって当たり前の生活リズムが循環していると、意欲、体力、気力が維持されます。子ども達自身が『早寝早起き朝ごはん』の大切さを感じて生活できるよう、憧れの小学校と繋げながら話題にし、必要な取り組みをしていきます。